

令和 8 年 9 月 1 8 日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

豪雨後の海洋環境整備船『白龍』による漂流物回収

令和 8 年 9 月 8 日から東海地方を襲った記録的大雨の影響により、大量の流木やごみなどの漂流物が伊勢湾内へ流入し、海洋環境整備船「白龍」（名古屋港湾事務所所属）による回収を実施しました。

「白龍」は、中部地域の経済を支える港湾を利用する船舶や、地域の食を支える漁船などが漂流物により航行に支障を来さないよう、また漂流物が海岸等へ漂着する前に回収するため、伊勢湾・三河湾において海域の巡視及び清掃を行っています。（参考資料－3）



今回の豪雨に伴い発生した漂流物については、9月9日から9月15日までの7日間にわたり重点的な回収作業を実施しました。回収した漂流物には、流木や朽ちて欠損した木造船（全長約7m）も含まれており、流木については切断して回収しました。過去3か年の年間平均回収量は168m³であり、今回の記録的大雨による81m³は年間回収量のおおよそ半分（約48%）に相当します。

名古屋港湾事務所では、今後も航行船舶の安全確保及び海洋環境の保全を図るため、「白龍」による海域の巡視及び漂流物の回収を継続して実施してまいります。（参考資料－1、2）

【配布先】

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、港湾新聞、港湾空港タイムス、
日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

【問い合わせ先】

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課

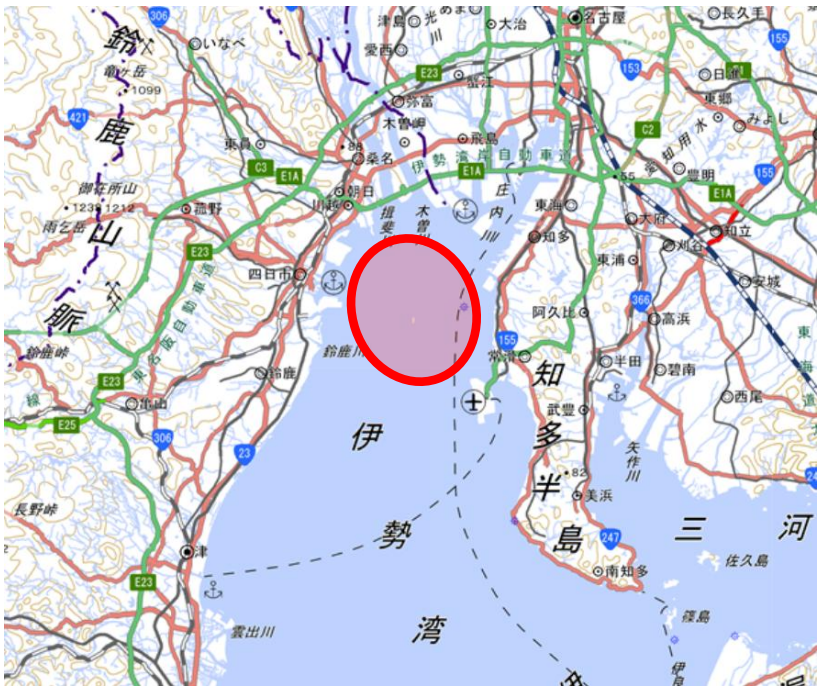
副所長：宇野（うの）、◎海洋環境・防災課長：梅田（うめだ）

TEL 052-651-6791 Fax 052-651-3801

○ 概況

今回、海洋環境整備船「白龍」により回収した漂流物は、木曽川水系及び庄内川水系において、降雨の影響による河川の増水に伴い流出し、海域まで到達したものと推測される。回収物の内訳について、流木、草木及び木片が多くを占め、これらに生活ごみが一部混在していた。

○ 主な巡視・漂流物回収箇所



○回収量

日付	回収量	巡視・清掃面積
9月9日(水)	23m3	2,280ha
9月10日(木)	22m3	8,160ha
9月11日(金)	2m3	440ha
9月12日(土)	29m3	3,880ha
9月15日(火)	5m3	1,400ha
合計	81m3	

※上記表は、気象・海象条件等で稼働しなかった日は除外している。

【活動写真】



漂流している流木（9月9日）



「白龍」クレーンで流木を回収（9月9日）



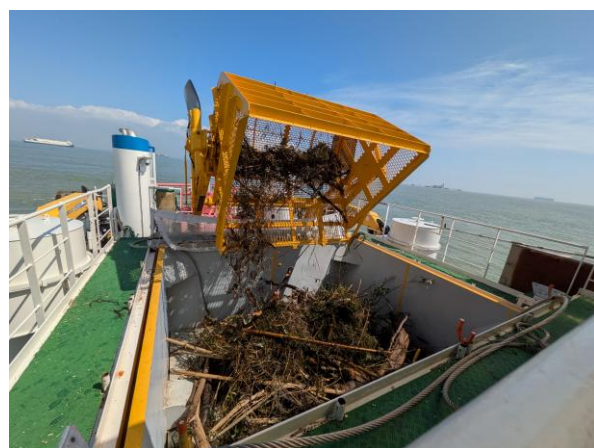
「白龍」にて回収した流木を甲板に仮置
（9月10日）



回収したごみの陸揚げの様子
（9月11日）



クレーンで朽ちた木造船（約7m）を回収
（9月12日）

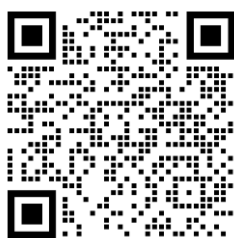


「白龍」塵芥コンテナの状況（9月12日）

【活動動画（名古屋港湾事務所X）】



スキッパーで
回収している様子



クレーンで
回収している様子

海洋環境整備船「白龍」の概要

「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面の漂流物（浮遊ゴミ）の回収作業を行う
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業を行う
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施する
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開を行う



担務海域
伊勢湾・三河湾 (1,800km²)

中部地方整備局 名古屋港湾事務所 所属

諸元
全長 33.5m
全幅 11.6m
総トン数198t



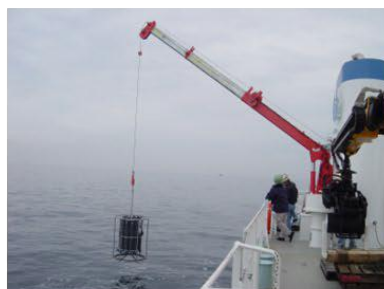
流木回収状況



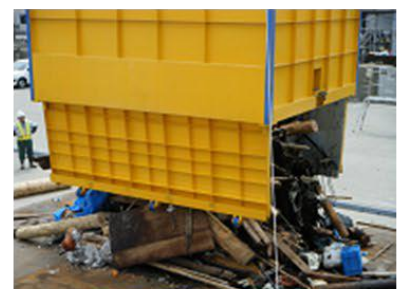
漂流物回収状況



油回収装置



環境モニタリング



回収ゴミの陸揚げ